

開設会場の設定に当っては、従来のブロック毎にほぼ均等の講座数を配分していたのを廃し、全県的にみて交通の便利な郡山会場を主会場として、ここに約半数の講座を開講した。

実施の結果は、昨年の実績をはるかに上廻るものがあった。これは、計画がほぼ適切であったものと思料される。然し、免許法上の単位修得の方法が大きく改変する時期が迫っていたことも大きな原因であり、この原因が解消する来年度における本講習の計画に当っては、いっそうの研究が必要である。

本講習における受講者の態度は、数年前とは比較にならぬ程真剣なものがあり、上級免許状取得に対する意欲がそのまま表われているとみてよい、又本講習が単に単位の附与を目的とするにとどまらず貴重な研修の場であることを考えるときに、この真剣な態度は、研修の成果を期待し得てまことに喜ばしいことである。

最後にこの講習を受講すべき必要のある者で受講しなかった者も少なくないように思われる。これは自己の便宜によるものもあろうが、学校行事その他の事由によるものもあると思われるので、各学校長にあっては、職員の資格と資質の向上のために、この講習のみにとどまらず通信教育、単位修得試験等の研修の機会に特段の配慮をされるよう希望する次第である。

#### 昭和35年度免許法認定講習実施状況

会場地	開設科目	単位数
福島市	経済学	72
	幾何学	25
	生物学	63
	理科 教材研究・教育法	66
	体育科 //	82
	図画・工作科 //	94
郡山	漢文学	99
	外国史	86
	解析学	44
	運動生理学	98
	栄養学	93
	英文学	20
	地学	93
	器楽	51
	調音	55
	国語科 教材研究・教育法	40
	社会科 //	42
	算数・数学科 //	39
	家庭科 //	30
	理科 //	31
	音楽科 //	85
	図画・工作科 //	80
	体育科 //	82
平市	英語科 教育法	21
	農業科 //	25
	工業科 //	17
	道德教育の研究	88
	学校保健	41
会津若松市	国語学	85
	絵画	62
	教育心理学	81
	国語科 教材研究・教育法	80
	家庭科 //	20
	音楽科 //	57

平	家族関係	60
	体育実技	
市	声学	44
	教育原理	86
	社会科教材研究・教育法	60
	算数・数学科 //	60
	//	47

#### b. 新採用教員等講習

従来助教諭を対象とする現職教育を行なって来たが、今年度は助教諭の受講該当者が減少したので、今年初めて教壇に立った経験の浅い新採用教員を対象とする講習を下記のように計画し、指導授業による指導技術の研究、教員勤務の心得や教育法規等の講義、研究討議など管内の事情に応ずる研修を実施した。

開催地	参加範囲	人員	会期
二本松	県北地区	50	6.19~19
郡山	安積全域	60	7.2~3
福良	湖南方部	40	6.25~26
白河	西白・知川	50	8.11~12
棚倉	東白・石川	120	6.5~6
船引	田村管内	46	7.22~23
田島	南会管内	38	7.1~2
喜多方	耶麻・北会	60	6.24~25
坂下	両沼管内	40	7.27~28
平	石城管内	100	7.21~22
原町	相双地区	80	6.25~26

#### c. 校長研修会

##### ①目的

小・中学校長に対し、学校管理、教職員の指導監督等について研修を行ない、教育水準の向上に資する。

##### ②主催 文部省、福島県教育委員会

##### ③期日・会場・参加範囲

◎昭和36年 1月16日、郡山市公民館、県南 6出張所管内小・中学校長約 300名

◎昭和36年 1月17日、平市立平第一小学校、石城・双葉管内小・中学校長約 150名

##### ④講師及び演題

◎管理問題の研究

文部省 視学官 長田 足穂氏

◎指導の立場における自信の問題

東京都教育委員長 木下一雄氏

◎文部省校長研修会報告

郡山会場 日和田中学校長 神野忠雄氏

平会場 湯本第一中学校長 猪狩不二男氏

##### ⑤日程 9.45 開会、15.15閉会

中央講師 2名の講演、各 1時間40分

文部省校長研修報告 50分

##### ⑥実施状況

時期的にみて無理であったが、講師陣容、議義内容ともにきわめて有意義であった。特に長田視学官の資料は学校管理上、非常に役立つものと思われる。

欠席者もほとんどなく、聴講中もノートをとるなど熱心に受講し、効果的な研修会であった。

#### d. 研究指定学校